

平成 30 年 2 月 22 日時点

(1) 事務事業の概要			
① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない		
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	●一年を通して行われる観光イベントへの支援やPRを行う。(実行委員会との打ち合わせ、補助金の交付やイベントの企画立案、準備及び後片付け従事。マスメディア(新聞、雑誌、TV、ラジオ等)を利用したイベント広報活動。ポスター作成。) ●観光イベントは、①実行委員会が開催(袋公園桜まつり、旭市いおかYOU・遊フェスティバル、旭市七夕市民まつり、あさひ砂の彫刻美術展等)、②観光物産協会が開催(サマーフェスティバル矢指ヶ浦等)③県等の団体、実行委員会が開催(ツールド千葉、JAFバスツアー)		
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
主だった観光イベントは平成17年合併以前より、各市町(観光協会)、実行委員会が開催している。	市主催以外のイベントが活発に行われている。それらイベントを可能な限り自主財源で運営できるよう協力、指導していく必要がある。また、イベントの内容が多岐に渡り、市の協力の仕方も柔軟性が求められるが、市のイベント協力のガイドラインを定める必要も感じる。	市民が自主的に行うイベントに対して、テントの貸し出しや、会場や駐車場の使用許可など求められることが多い。また、新たなイベントの開催要求もある。	

		単位	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)
事業費	費目内訳						
	1. セタ市民まつり補助金	千円	7,500	9,000	7,500	7,500	8,000
	2. YOU-遊フェスティバル補助金	千円	5,374	5,374	5,374	5,350	5,350
	3. あさひ砂の彫刻美術展補助金	千円	1,500	1,500	2,000	1,500	1,500
	4. 広告料	千円	1,000	2,458	2,458	2,458	2,458
	5. その他	千円	5,796	6,020	6,211	6,030	6,349
	事業費計 (A)	千円	21,170	24,352	23,543	22,838	23,657
財源							
	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円				12,850	13,350
	5. 一般財源	千円	21,170	24,352	23,543	9,988	10,307

従事職員数	常時	5人	最大	13人	×	13日	=	延べ	169人
-------	----	----	----	-----	---	-----	---	----	------

① 主な活動		⇒	③ 活動指標名		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	
			単位							
手段	28年度実績(28年度に行った主な活動) 各イベント主催団体に対する補助(桜まつり・砂の彫刻美術展・YOU遊フェスティバル・七夕市民まつり)観光イベントのPR(ポスター作成、メディアの情報提供、TVラジオ製作協力)		ア	イベント開催団体	団体	5	5	5	5	
		イ	イベント開催日数	日	25	24	39	30	39	
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	
	対象 ①市民②イベント参加者 意図 ①市民同士、市民と市外からの方々との交流が盛んになる。 ②市外から多くの人が訪れる。 対象 意図		単位							
			ア	年度別イベント入込数	人	313,000	331,700	382,000	360,000	382,000
			イ							

①成果優先度評価結果				②コスト削減優先度評価結果			
		成果向上余地			コスト比率		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
施策貢献度	大きい		②		①		
	普通				(2)		
	小さい				④⑤		
					⑥⑦⑧⑨		

②成果指標③努力

年度	努力 (努力)
H25	310,000
H26	330,000
H27	380,000
H28	360,000
H29計画	380,000

評価内容	① 進捗状況 ☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難 【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)														
	② 成果の状況		成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい	☐ 低下	比較	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
			成果指標イ			☐ 向上	☒ 横ばい	☐ 低下	25年度		26年度	27年度	28年度	29計画	
	【コメント】 (低下の場合、その理由)					成果動向	ア	イ	△5,500	18,700	50,300	△22,000	22,000		
③ 今年度取組事項 (29年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容			今後の方向性									
		通年	経費を増加させること無く、観光客の誘致に繋がるよう、より効果的なPRを図る。			通年	☐ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☒ その他(イベント内容の見直し)								
		補助金を支出している各イベントにおいて、従事職員数の減が図られるようイベントの企画段階からの市との関わりの見直しと、市補助金の見直しを各イベント団体と考えていく必要がある。													